

次世代火山研究推進事業 課題 C-2

山口大学の協力機関から参加機関への変更について（メール審議結果の報告）

次世代火山研究・人材育成総合プロジェクト 次世代火山研究推進事業 課題 C-2「噴火履歴調査による火山噴火の中長期予測と噴火推移調査に基づく噴火事象系統樹の作成」において、山口大学は、九州地方の火山の噴火履歴解明に関する調査研究のため、これまで本課題の協力機関として事業に参画してきた。今般、代表機関の北海道大学より、山口大学の協力により調査研究を進めてきた九重山（重点火山）において、最大規模となる飯田噴火のマグマサイクルの存在の指摘や給源の推定、同噴火に先駆する火砕噴火の規模の見直しなど、多くの成果が得られており、より重点的に調査研究を進める必要があることから、令和5年度より山口大学を協力機関から参加機関に変更したいと申し出があった。

変更前後の実施体制は下図のとおりである。

本件について、上述のとおり課題 C-2 の協力機関である山口大学の参加機関への変更について令和5年1月25日から2月1日にかけてメール審議を行い、2月8日付で総合協議会の承認を得た。

現 在

変 更 後

課題 C-2 参加機関
北海道大学（代表機関）
秋田大学
山形大学
茨城大学
東京大学
日本大学
富山大学
熊本大学
産業技術総合研究所
課題 C-2 協力機関
北海道教育大学
筑波大学
信州大学
山口大学
電力中央研究所
防災科学技術研究所
株式会社エンバイオ・エンジニアリング



課題 C-2 参加機関
北海道大学（代表機関）
秋田大学
山形大学
茨城大学
東京大学
日本大学
富山大学
山口大学
熊本大学
産業技術総合研究所
課題 C-2 協力機関
北海道教育大学
筑波大学
信州大学
電力中央研究所
防災科学技術研究所
株式会社エンバイオ・エンジニアリング